



議会だより



おもな内容

初議会 新議会議員構成	2
3月定例会	4
予算審査特別委員会	6
一般質問(3名)	7
常任委員会・特別委員会報告	12
議員紹介	14
どっこい、この町に生きる	16

新しい議会体制で

住民の負託に応えます

一般選挙後の臨時会（初議会）が、5月8日に招集されました。最年長議員である福田 稔議員が臨時議長を務め、議長選挙が行われ、無記名投票の結果、村上正広議員が9票を獲得し当選しました。村上新議長により副議長選挙が行われ福田 稔議員が8票を獲得し、当選しました。続いて各常任委員の選任、議会運営委員の選任などが行われ、新しい体制が決まりました。

新議長あいさつ



村上 正広 議長

先の町議会議員選挙において新たな議会構成となりました。町政始まって以来初となる無投票での当選でありましたが、議員各位の絶大なご支援をいただき、再び議長の職責を担うことになりました。引き締まる思いで一杯であります。微力ではありますが町民各位の福祉向上を目指し頑張る覚悟であります。



福田 稔 副議長

本年は国勢調査の年でもあり、過疎、少子高齢化が一層顕著に表れることが予想されます。日南町議会も全国議長会町村議会特別表彰を受けましたが、より一層開かれた議会並びに資質の向上に取り組み、行政の監視機関として機能発揮が出来るよう取り組んでいきたいと思っております。終わりに町民各位のご理解とご協力をお願い申し上げ就任のご挨拶と致します。

日南町議会の新体制

総務教育常任委員会

委員長 山本 芳昭
副委員長 荒木 博
委員 惠比奈礼子
古都 勝人
大西 保
村上 正広

経済福祉常任委員会

委員長 久代 安敏
副委員長 足羽 覚
委員 藤原 泰則
近藤 仁志
坪倉 勝幸
福田 稔

議会運営委員会

委員長 古都 勝人
副委員長 惠比奈礼子
委員 山本 芳昭
久代 安敏
福田 稔

議会運営委員会とは

議会の運営に関することや会議規則、委員会に関する条例に関することなど議長の諮問的役割を持つています。委員の数は5人で、任期は2年です。

議会広報調査特別委員会

委員長 久代 安敏
副委員長 足羽 覚
委員 大西 保
近藤 仁志
福田 稔

議会広報調査特別委員会とは

議会の議事や活動など広く町民に周知を図るために設けられ、任期は調査終了まで、委員の数は5人です。

西部広域行政 管理組合議会

議員 村上 正広

鳥取県後期高齢者 医療広域連合議会

議員 村上 正広

江府町日野町日南町 衛生施設組合議会

議員 足羽 覚
大西 保
荒木 博

議決した おもなもの

全員一致で承認・可決・同意されました。

- 専決処分の認定
- 日南町税条例等の一部改正
- 日南町国民健康保険診療施設使用料及び手数料徴収条例の一部改正
- 教育委員会の選任同意
福田 英寿
(任期は平成30年5月13日迄)
- 中村 秀代
(任期は平成31年5月13日迄)
- 監査委員の選任(議会選出)
近藤 仁志
(任期は平成31年4月29日迄)
- 財産の取得
除雪ロータリ(2.2m級)1台
取得価格 30,780,000円(消費税込み)
- 条例の一部改正
日南町国民健康保険税条例等



修繕する排ガス処理施設



平成27年5月8日に開かれた改選後初めての臨時会

平成27年度予算を議決 おもな新規事業



来春オープン

日南町議会の3月定例会は、3月3日から24日までの22日間の会期で開かれました。増原町長による平成27年度施政方針説明を受けて、3人の議員が一般質問を行いました。執行部から提案された平成26年度補正予算、平成27年度の一般会計など各会計の当初予算および条例改正案は、原案通り可決しました。

予算審査は、議員全員で構成する「予算審査特別委員会」(委員長・坪倉勝幸)を設置し、担当課から詳しく説明を受け、住民にとってよりよい予算となるよう審議を深めました。



平成27年度 会計別当初予算額

会計	金額	対前年度比
一般会計	75億8,795万2千円	13億321万1千円
国民健康保険会計	8億6,286万5千円	1億907万円
簡易水道会計	2億9,997万円	4,242万1千円
農業集落排水会計	2億725万1千円	△266万3千円
介護保険会計	10億8,696万4千円	2,771万円
介護サービス会計	1億9,119万6千円	△2,983万9千円
後期高齢者医療会計	1億288万6千円	373万3千円
再生可能エネルギー発電事業会計	1,694万6千円	1,694万6千円
病院事業会計	13億2,934万5千円	△1億3,997万9千円
収益的収支	11億2,673万8千円	△1億9,073万7千円
資本的収支	2億260万7千円	5,075万8千円
合計	116億8,537万5千円	13億3,061万円



予算審査特別委員会の審査報告

3月定例会では、平成27年度一般会計をはじめ、各会計予算の審議にあたり、本会議での質疑後、予算審査特別委員会（委員長 坪倉勝幸）を設置して、平成27年3月4日、5日、9日、10日、11日、16日に委員会を開催し、付託された各議案の会計予算について関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行いました。

その結果、いずれの予算も次の意見を付して原案を可決すべきであると決定しました。

審査報告

1. 中心地域整備事業

「道の駅」については、28年度の開設を目指して直売所、加工所やレストランなどの建設事業とともに、農林産物販売支援員（2名）と地域おこし協力隊員（2名）を雇用し、農産物の生産、加工、販売の体制整備にむけた取り組みがなされるが、開店まで残り1年間のうちで農産物の安定生産、加工商品作りおよび販売戦略の構築は重点課題である。

町として、「道の駅」の経営方針や戦略を確立したうえで、関係事業者、機関と十分な連携の下に、前述の4名が効果的に活動できるように指導、監督せよ。

2. 電算管理運営事務

全国民に12ケタの番号を付ける個人番号制度（マイナンバー）が、来年から実施されることになっているが、住民に十分な説明をせよ。

3. 子育て世代就労支援事業（事業所内保育）

日南福祉会で実施されている事業所内保育事業では、職員だけでなく、町内から多くの利用がある。保育園の保育時間外の乳幼児保育の受け皿にもなっており、子育て支援の役割は大きい。子育て環境充実のため、施設、設備および人的体制を充実できるように支援せよ。



あかねの郷の事業所内保育

4. 放課後児童クラブ事業

対象児童が6年生まで拡大されたことにより利用者の増加が見込まれることから、曜日によって開設場所を変えて運営することであるが、児童の健全な育成のため、施設、設備の拡充が必要と考える。

学校施設などの活用を含め検討せよ。

5. 公の施設の指定管理

委託料の有無や算定基準が曖昧である。

設置目的にそった管理、運営ができるよう、施設ごとの委託料のあり方について明確にせよ。

6. 除雪委託料

年間の除雪委託料、機械修繕費が近年高額になっている。道路通行の快適性、安全性の確保は重視されなければならないが、町民の理解を得て除雪基準や委託料算定基準などを検討せよ。

また、機械の管理、運用についても万全を期すこと。

7. 地方創生関連事業

今後の予算執行について

8. 介護予防・生活支援サービス事業

真に「地方創生」となるように工夫せよ。

9. あかねの郷施設修繕

修繕にあたっては、雨漏りの原因を明確に究明し、専門知識を有する者にも意見を求めるなど、修繕方法を慎重に検討すべき。

10. 介護施設公債償還

日南福祉会に介護施設建設に伴う公債償還にかかるとる負担金を求めているが、介護報酬の引き下げ改定や職員の減少などにより経営環境が厳しくなる中、日南福祉会の経営安定と人材確保のためにも、一定の基準を定め負担金の引き下げが必要と考える。検討せよ。

町政のここが聞きたい

問 高校生の就学支援を実施しては



足羽 覚議員

答 今後、精査し検討していく

問 地方創生

①厚生労働省の2014年の人口動態統計年間推計によると日本人の死亡数は出生数を26万8,000人上回り、8年連続の自然減となった。鳥取県のおよそ半分に相当する人口が減った事になる。日南町も「創造的過疎」（穏やかな人口減少）のまちを目指し取り組んでおられ、合計特殊出生率も2・55%と県内でもトップの出生率である。また、若年女性減少率も日吉津村の次に低い5.4%で、2040年でも254人の将来人口推計結果が出ており、大変素晴らしいと思う。しかしながら、平成24年10月の統計によると、婚姻率(27%)・生産年齢人口(45・2%)が県下でも最も低く、高齢者人口割合(47・5%)が最も高い統計が出てくる。地方創生に向け、各地域で競争が始まる中、将来的に生産年齢人口を増やせる地域社会を構築する事が急務と感ずるが、更なる取組があるか問う。

②将来、不安なく子供を産み育てられる環境づくりとして、「多子化支援保育料軽減」や子育て支援センターの建設をされたが、町内には高校が無いため、必ず通学費用や寮費等が発生し、多子化になるとかなりの負担になる。日南町である程度、交通費の助成が出来ないか問う。

答 増原町長

①町の人口動向を分析し、将来展望を示す「日南町人口ビジョン」とそれを基に、日南町における今後5か年の目標、施策の基本的方向性や施策を提示する「日南町総合戦略」を平成27年9月末を目途に作成する。

②高校生の通学費や寮費等の就学支援制度について

問 宿泊施設の指定管理



電車で通学する高校生

は、さらに精査し、検討していく。

答 町長

平成25年度のゆきんこ村と日南邑の経営状況を比較すると、ゆきんこ村はかなりの赤字経営である。今一度、ゆきんこ村を創った原点に戻り、悪循環の経営を断ち切る事が大事と考える。また、地方創生事業に絡め、メディア等も活用しながら、地域の素晴らしい自然を生かした経営戦略で、交流人口を増やす事が地域の活性化に繋がると思う。今後、指定管理者任せでなく、道の駅や日南邑・イチイ荘を含め、町としての営業活動やビジョンが必要と感じるが、戦略を何か考えておられるか問う。

ゆきんこ村は、滞在型の施設として、地域の活性化の拠点施設と考える。道の駅の情報提供機能を生かし、町内の他の宿泊施設と連携し、地域資源を掘り起こし再生を期する。

町政のここが聞きたい

問 介護保険制度の改正により
日南福社会の運営をどのように
把握しているか

答 介護保険運営協議会で協議して
もらい、決算状況で負担減額も
検討する



久代安敏議員

問 介護保険制度の改正と
社会福祉法人「日南福社会」

- ① 昨年の法改正により、介護保険制度が大きく変わる。日南町の第6期介護保険事業計画は、運営協議会等で十分議論されたものになっているか。
- ② とりわけ要支援1〜2（非該当も含めて）の訪問介護や通所介護を、あらたな地域支援事業として初年度から取り組むことになっているが、スムーズに移行できるような体制はできているか。
- ③ 介護職員の処遇改善が見込まれているものの、介護報酬全体の削減は、介護サービスを提供する「日南福社会」の運営にとっても影響は甚大であると思うが、どのように把握しているか。
- ④ 「日南福社会」の介護士などの職員不足により、一部の施設閉鎖も検討されているとのことであるが、町としてどのような対策を取ろうとしているのか。
- ⑤ 「あかねの郷」などの介護施設の建設や特浴整備などの起債償還費の約3割を「日南福社会」に負担を求めているが、再検討すべきだと考えるが、どうか。

答 増原町長

- ① 第6期介護保険事業計画について、昨年12月から介護保険運営協議会で3回協議。熱心に議論をいただいた。
- ② 新しい介護予防・生活支援総合事業への移行については、事業者との打合せ、まちづくり協議会や地域の各種団体を対象とした説明会、研修会を実施した。介護報酬等詳細が確定すれば、具体的な協議をすすめる。利用者への不利益はないと見込んでおり、利用者への説明を3月中に行う予定。
- ③ 平成27年4月1日からの報酬改定率は、平均△27%。単価部分は△4・48%（特に特別養護老人

問 昨年末の総選挙結果と安倍内閣

- ① 昨年末に執行された総選挙結果をどのように受けとめているか。
- ② 昨年4月からの消費税増税や円安による消費者物価の上昇、年金引下げ、生産者米価の大暴落などにより地方経済は深刻であり、この度の国、県、町の補正予算は、それを認めたものである。このまま「アベノミクス」という経済政策をすすめて景気が回復すると考えているか。
- ③ 政府がすすめるTPP交渉の現局面や農協「改革」は、農業・農村・農協「つぶし」で「地方創生」とも相いれないと考えるが、どうか。
- ④ 政府与党は、戦後70年の節目の年に、「集团的自衛権の行使容認」の閣議決定を具体化する法案提出を狙っているが、あらためて見解を問う。
- ⑤ 日南福社会の決算状況によっては、負担金の減額を検討することとしている。

答 町長

- ① 「アベノミクス」と「地方創生」への期待感があつたと考える。
- ② 日南町においては、経済効果という点ではその恩恵を感じられない。
- ③ TPP交渉は最終局面を向かえ、日米妥結点へ注視が必要と考える。農協改革等については、農家所得の向上が叫ばれているが、どう結びつくのか説明が必要。
- ④ 憲法改正手続きを含む国民の理解と論議を深めることを優先すべき。

町政のここが聞きたい

問

日南町の課題とあるべき姿は

答

日南町総合戦略で明らかにする



三上惇二議員

問

日南町のあるべき姿と課題

①戦後70年、日本、日南町を取り巻く状況は大きく変化した。選択と集中が強くなり、競争社会への道が避けられない状況の中、今後の政治、経済、社会全般を踏まえた日南町の課題について問う。
②社会情勢の変化に伴い、それぞれの分野で地域間競争、自治体間競争が激しくなると思うがどのように対応されるのか。
③日本創成会議の座長、増田寛也さんがまとめた「地方消滅」が大きな反響を呼んだ。一方、限界集落と言われた農山村で「ふるさと回帰」「田園回帰」の動きが強まり農山村は消滅しないとの論もあり、二極化、多様化していると考えるが政策課題に対し、どのように反映されるのか問う。

答

増原町長

①少子・高齢化と産業の振興が課題。中心地域に経済基盤を確立したい。
②日南町らしく将来を見据えた戦略が大事。魅力ある雇用の確保などに努めたい。
③人口減少と地域経済の負のスパイラルからの脱却を目指す。具体的な施策について「日南町総合戦略」で明らかにしたい。

問

自然条件の変化

①今後、自然環境の変化により想定した事のないような状況が発生したり、地震や火山活動が活発化し、より大規模な災害の発生を予見する情報もある事から今後の防災について問う。
②地球温暖化、環境条件の悪化などの影響により、日南町における生態系の変化など、農林業に大きな影響を与えると考えるが見解を問う。

答

町長

①住民自らも早めの行動を起こし、行政も早めの警戒情報提供に努める。また、日頃の防災訓練も重

要。

②地球温暖化の影響は、水稲の高温障害、野菜の生育障害へ影響が出ている。林業振興では、集中豪雨の影響がある。作物の生育、林業施業など配慮した対策が必要と考える。

問

定住対策と産業振興

①地域の活力を高めるため、移住政策、若者支援策をこれまで以上に進める必要があると考えるが見解を問う。
②農林業の町で有りながら生産に関わらない人が増えている。健康作りを兼ねて、家で食べる一品を作る、一人一品運動を呼びかけたらどうか、見解を問う。

答

町長

①産業の振興と定住は地域力を生み出す基盤と捉え、さらなる移住政策の充実と若者の定住に繋がる施策を創出する。

②恵まれた農地の有効活用や健康づくりにつながることであり、各まちづくり協議会などで積極的に呼びかけたい。

問

教育の問題

近年、青少年の関係する、いたましい事故、事件が発生している。どこで起こっても不思議ではないと言われ、家庭教育、学校教育、社会教育、社会全般の責任が問われていると思うが見解を問う。

答

町長

家庭、学校、地域、関係諸機関が相互に連携、協力をし合い、安心・安全な生活環境づくりや学習環境づくりとともに、子どもの確かな成長のための、豊かな人間関係の醸成を図ることが大切である。

3月議会審議結果と議員ごとの賛否内訳

賛成＝○ 反対＝×

議案名	結果	足羽 覚	古都 久志	荒木 博	藤原 泰則	山本 芳昭	福田 稔	久代 安敏	古都 勝人	三上 惇二	坪倉 勝幸	恵比奈 礼子	村上 正広
条例の制定													
日南町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例の廃止													
日南町議会議員の議員報酬の特例に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例の一部改正													
日南町早期退職希望者の募集及び認定に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町職員の給与に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町税条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町立公共施設等建設基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町人材育成奨学資金貸与条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町保育所の設置及び管理運営に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町認知症高齢者グループホームの設置及び管理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町介護保険条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成26年度 補正予算													
一般会計（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
国民健康保険特別会計（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
簡易水道事業特別会計（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
農業集落排水事業特別会計（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険特別会計（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護サービス事業特別会計（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
病院事業会計（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度 予算													
一般会計	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
国民健康保険特別会計	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	—
簡易水道事業特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
農業集落排水事業特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
介護サービス事業特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—
再生可能エネルギー発電事業特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
病院事業会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計補正予算（第10号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
簡易水道事業特別会計（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
その他の議案													
公の施設に係る指定管理者の指定（あかねの郷ほか）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
公の施設に係る指定管理者の指定について（ゆきんこ村かやぶきの家）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
日南町過疎地域自立促進計画の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
教育長の選任につき同意を求めること		賛成票11票で同意											

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

請願・陳情の審査結果

提出のあった陳情は、3月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査意見	本会議
集団的自衛権関連法案を国会に提出しないよう求める請願書	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	立憲主義を否定する集団的自衛権行使を容認する閣議決定は、理解できない。 また、それに基づく関連法の改正は行うべきではない。	採 決
集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回と、これを具体化する立法に反対する意見書の提出を求める陳情書	九条の会・にちなん呼びかけ人 代表 石田 正義		
町道大谷線道路改良について	神福上自治会 会長 松田 正	本路線については、町有林などの搬出間伐による大型トラックの通行や除雪により路面の剥離や損傷と水路・農地への被害も発生しており願意は妥当であるが、森林の施業計画を考慮して改良をすすめるべきである。	採 択
介護保険制度についての陳情	日南社会福祉労働組合 執行委員長 荒金 敏江	経済福祉常任委員会の審査では、2件と少数で採択したが、本会議で採択となりました。 <small>第6期介護保険制度は、要支援1.2の対象者を介護保険制度から外し市町村が行う介護予防事業にすることや、特養の入所要件を要介護3以上にすることなど問題がある。また、介護報酬の大幅な引き下げによる介護サービス事業者の運営に深刻な影響が見込まれることや、日南町による人材確保対策、日南町が建設した施設等の利用料の見直しについても予算審査特別委員会の意見として議会で議決した。</small>	採 択
介護保険制度についての陳情	鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田 安一		

3月定例議会で下記の意見書を採択し、 内閣総理大臣ほか関係大臣及び衆参両院議長に提出しました (要旨掲載)

集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回とこれを具現化する立法に反対する意見書

憲法に関わる議論は十分な国民的議論や国会審議を行うべきであり、時の政権における憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認は認められないとして、本議会は、閣議決定に反対する意見書を昨年6月に提出したにもかかわらず、7月1日に集団的自衛権の行使を可能にする閣議決定されたことは、真に遺憾である。

また、政府はその閣議決定に基づいて関連法の改正案を国会に提出しようとしている。

我が国のあり方、特に国際社会での武力行使など国の根幹に関わる議論は、十分な国民的議論の下に決定されるべきである。

よって、本議会は下記の事項について強く求めるものである。

記

1. 集団的自衛権行使を容認した閣議決定を撤回すること。
2. 集団的自衛権行使を具現化する関連法案を国会に提出しないこと。

介護保険制度の見直しを求める意見書

本年4月から始まる第6期の介護保険制度では、要支援者の訪問介護・通所介護が「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」として、従来の保険給付から、市町村事業へ移行となるが、マンパワーの確保など、制度が持続できるのか不安である。また、特別養護老人ホーム入所要件が、原則要介護3以上に限定され、17万人に影響すると見込まれている。

さらに、介護サービス提供事業者を支払う公費である介護報酬を大幅に引き下げるなど、介護現場からは、厳しい批判の声が上がっている。

地方の実態や声を反映する介護保険制度に見直しするよう強く要望する。

各常任委員会所管事務調査

総務教育常任委員会 所管事務調査

担当課	調査事項	対応及び意見
教育課 (1月16日)	文化センター改修工事設計状況	文化センター空調設備、トイレ改修、外壁改修の工事設計について協議。
	テニスコート移転工事にかかる旧焼却場残渣について	旧焼却場残渣の分析結果及び処理について説明を受ける。
総務課 (1月16日)	AEDの配備について	生山駅などに追加配備、低温時の管理方法などについて検討。
	まなび宿の管理について	まなび宿などの草刈などの周辺管理について地域に補助金を交付するよう要望。
	地域防災計画について	震災対策編の概要について説明を受ける。
企画課 (1月16日)	町総合計画後期計画（H27～31）策定状況	後期基本計画の策定状況について説明を受ける。
	地方創生について	地域消費喚起・生活支援型、地方創生先行型の取り組みについて説明を受ける。
教育課 (2月10日)	テニスコート移転工事にかかる旧焼却場残渣について	県との協議により工事該当部分の残渣は、処分場に運んで処理することに。
	文化センター改修事業について	文化センター空調設備、トイレ改修、外壁改修などの工事概要について了承する。
	小中特例校の認可について	小中一貫教育「ともいき科」について国から認可された。
総務課 (2月10日)	地域防災計画（原子力災害編）について	原子力災害編の概要について説明を受ける。
企画課 (2月10日)	町総合計画後期計画（H27～31）策定状況	後期基本計画の事務局案について説明を受ける。
	地方創生について	プレミアム商品券、子育て応援クーポン券の発行について、協議。 子育て応援クーポン券は、世帯から子供の人数に対して交付することに。
陳情審査 (3月13日)	委員会に付託された請願1件、陳情1件の審査	

経済福祉常任委員会 所管事務調査

担当課	調査事項	対応及び意見
農林課 (2月12日)	ゆきんこ村指定管理募集について	これまでの管理者を変えることを条件とし、指定管理委託料の引き上げは止むを得ない。
	多面的機能支払制度変更にかかる臨時職員募集について	新しい制度をスムーズにすすめるためには、職員の体制を拡充すべきである。
	がんばる地域プラン計画策定状況	平成27年度予算の審議過程で詳しく説明できるようにすること。
	稲作農業の体質強化緊急対策事業への取り組み	米価暴落対策として決定した国の補正予算であるが、制度上の問題もあり町内の取り組みは少ない。
福祉保健課 (2月12日)	介護保険制度の改正案への対応	制度改正について、事業者や利用者に十分な説明と、サービスの後退にならないよう努める。国に対して意見書を決議(11ページ参照)
	介護保険料改定について	上限額の引き上げはあるが、基準額と各所得段階の保険料は据え置く。
陳情審査 (3月13日)	町道大谷線の現地調査	陳情審査のため現地調査を行い、採択と決定する。(11ページ参照)

中心地域整備に関する調査特別委員会

平成25年12月17日に設置されてから、14回の委員会を開催し、商業ゾーンを中心に調査を行ってきましたが、議員の任期満了により、特別委員会も閉じます。

平成28年5月の道の駅開業に向けて、現在設計も発注し、計画はある程度順調にすすんでいる。また国土交通省の重点道の駅に選定されたことは、地方創生の先陣を切るものである。町が持続発展していくための拠点になるよう、関連団体との連携を緊密に図り、万全の体制を構築されたい。

今後、特産品づくりや冬場の生鮮野菜の生産体制など、出荷者運営協議会が中心となり、町民一人一人のやる気とがんばりのもとに、一致団結してのとりくみになることを期待する。

町村議会表彰

全国町村議会の「政策づくりと監視機能を十分発揮している議会」「住民に開かれた議会」「地域振興のために特別な取り組みをした議会」を対象に選考をされ、本年2月6日、全国30の推薦された議会のなかから、日南町議会を含む5議会が特別表彰を受けました。

本町議会は、今期、全員で「議会改革特別委員会」を設置し情報公開、監視機能、政策立案機能、議会活性化、定数、報酬等議会の活性化に資する改革について議論し実践した成果の表れであり、特に議会基本条例の制定、議会報告会&意見交換会の実施や全員協議会、常任委員会、特別委員会のテレビ中継放送「日南町再生可能エネルギー利用促進条例」「住宅改修助成条例」「意欲ある農業者支援条例」は議会発議で、住民に直結した条例の制定であり大きな評価を頂きました。

今後とも議員一丸となって町民目線での議会を推進して参りたいと思えます。町民の皆様方にも大変お世話になりました、厚く御礼申し上げます。

コメント

「この表彰を契機にさらに住民福祉の向上、町民の負託に応え信頼される議会にしていきたい」



自治功労者表彰

2月18日、全国町村議会議長会より、町村議会議員として15年以上在職し、功労のあつた者として4名の議員が自治功労者表彰を受けました。

長きにわたり、地域振興及び住民福祉の向上に尽くされました。

今後更なるご活躍を期待します。



左から
三上倅二議員・福田稔議員・恵比奈礼子議員・久代安敏議員

議会改革に関する 調査特別委員会

本委員会は平成23年6月に設置されて以来、本日まで34回にわたり委員会を開催し、町民の負託に応え、信頼される議会であり続けるために議会はどうあるべきかの観点から、さまざまな制度、規則や活動内容について検討協議をしてきました。

この間、町民の方々との4回の意見交換や先進地事例の調査を行い、委員会での検討を深めてきました。

その結果、議案審議における質疑回数削減、一般質問における質問時間の延長、町長等の反論権や議員間討議の導入などの会議規則の改正、また町民との意見交換会や議会報告会の実施や全員協議会、常任・特別委員会のテレビ中継放送の実施などの広報広聴活動の充実、議員定数や議員報酬の検討、そして議会や議員のあるべき姿を定めた議会基本条例の制定など、議会活動および議員活動の向上、活性化に資する検討を行い、実現してきました。

その成果は、政策立案に関する特別委員会（平成25年6月〜26年3月）による政策条例の提案、成立なども相まって、本議会の活動が、全国町村議会議長会特別表彰の受賞につながりました。

町民を代表する議事機関としてその使命達成のため、引き続き不断の努力をされることを期待して、調査報告とします。

議員12人の紹介

この度の一般選挙により誕生した町議会議員の皆さんに今後の抱負などについて質問しました。質問は①議員としての抱負②私の信条③趣味についての3項目です。議席番号順に、氏名、年齢、当選回数も紹介します。



1番議席

足羽

覚

(53才・2回)

①農林業の6次産業化、福祉行政の充実、若者の定住化促進を図り、若者や子供たちが地域に残り、定住出来る社会を築ける様、頑張ります。また、元気な高齢者が増える様、軽スポーツの普及と医療費の削減を目指します。
②「ふるさとに誇りが持てる町づくり」を目指し、皆さんと一緒に一生懸命努力します。
③ノルディック・ウォーク、野菜づくり



4番議席

古都

勝人

(62才・2回)

①「あぜ道」や「縁側」で皆さんから聞いた課題を少しずつでも解決する活動を行います。特に、高齢農家、小規模農家も生き残れる活動や雑木山もお金になる活動、人材養成のために就学支援する活動は力を入れて取り組みます。
②「念ずれば花ひらく」ー目標を定めて努力すれば、いつかは実現できる。
③映画鑑賞



2番議席

恵比奈礼子

(59才・5回)

①初心に帰り町民の視点女性の視点で、やさしさとうるおいがあり、誰もが輝く日南町になるよう努力します。
②本を忘れず、末を乱さず
③読書・音楽や絵画の鑑賞



5番議席

山本

芳昭

(55才・2回)

①子どもたちの健やかな成長のため教育の充実を図り、医療・福祉の増進、農林業の振興、引き続き町民の声を行政に届け、実現する事に努めます。
②元気で共に助け合い、共に歩める町づくりに努めます。
③じげ風呂(ブログ)とフェイスブック



7番議席

坪倉

勝幸

(58才・8回)

①町民と行政の架け橋、町民の代弁者として行政のチェックや具体的な政策の提案を行います。特に、農業や農村の振興に努力します。また、議会での議論の活性化に努めます。
②いつでも、何事にもできる限りの努力を怠らない。
③スポーツ観戦



8番議席

近藤

仁志

(62才・1回)

①「今日の笑顔はあすへの力」をモットーに、笑い声が山合に響きあすへと続く活動を原点到頑張ります。その為に生活不安の声を聴き、その解消を第一に据え、そのうえで交流人口を増やし日南町ファン獲得に努めます。
②「評価は他人に委ねる」を信条に持論を展開し、併せて他人の意見を素直に聞く。
③農業は、挑戦と反省の繰り返しで飽きない。



6番議席

大西

保

(63才・1回)

①経営改善や環境改善活動を始め、自治会を中心とした地域活動の経験を活かし、町民の皆様のご意見・ご要望をしっかりと受け止め、あらゆる難問・課題に対して、骨身を惜しまずその解決・改善に積極的に取り組みます。
②皆様に喜んでいただける議員活動を行います。地方創生に正面から向き合います。
③野球及びスポーツ鑑賞・人情歌謡劇団活動



9番議席

荒木

博

(58才・2回)

①人口の減少と高齢化が大きな課題となっている日南町にとって国の地方創生施策は大きなチャンスであると考えています。微力ではありますが、ふるさと日南町の発展のために頑張ります。
②対立より対話によって物事を進めるべき
③自然観賞、日曜大工



10番議席

久代

安敏

(59才・5回)

①「住民こそ主人公」の立場をつらぬき、住民の福祉とくらし、憲法九条で平和を守り、希望がもてる町づくりのために全力でがんばる決意です。みなさんの代表として行政をしっかりとチェックし、政策提案をおこないます。安倍政権には、これまで地方や農村・農林業をないがしろにしてきたことへの反省があります。主権者である私たちへの力が合わせられ、国も地方政治も必ず変えられる。それが私の信念です。
②憲法をくらしに生かす
③演劇を観ることと演じること。



11番議席

福田

稔

(74才・5回)

①益々進行する過疎や高齢化に苦しむ日南町政に引き続き関わり、町民の皆様の声を真摯に受け止め、それを町づくりのエネルギーに変えて、「行政の方向づけとチェック機能の強化」をめざし町民の付託に応えるよう努力します。
②「決断と実行」を信条に、初心に帰って誠心誠意、頑張ります。
③写真、ゴルフ、スキー



3番議席

藤原

泰則

(62才・2回)

①地域の発展のため、住みよい町づくりの為に頑張っていきたいと思っております。
②明朗・活発・信頼
③アユ釣り、古代史研究、旅行



12番議席

村上

正広

(65才・6回)

①開かれた議会と情報公開をより進めて参ります。町民の代表として行政のチェックと農林業の活性化で雇用の拡大を図り、より持続可能な町の構築に努め「住んでみたい、住んで良かった」といえる町にしたいと思っております。
②町民の皆様の声を町政に反映させるため町民目線で何事にも一生懸命できる限りの努力を惜しまない。
③スポーツ観戦

道 どっこい、この町に生きる 草



山口 慎司さん (多里)

田舎が欲しかった

日南町に来られたきっかけは？

インターネットで農林業研修生を募集している知り、応募しました。他の地域の募集もありましたが、日南町の条件が良かったので。
実際に住んでみて働いてみてどうでしたか？

まず、言葉の壁に苦労しました。方言がわからなくて・・・今でもわからない言葉がたくさんあります。なんとなく雰囲気理解するようにしています。
農業の研修も主にトマト作りを一通り勉強しましたが、体力勝負ですね。
多里生産組合に就職して2年目を迎えられるまでです。

たとえばトマト作りを自分で経営するのは、正直ちよつと怖いと思いました。僕たちのようによそから来たものは、家も田んぼも畑も自分のものはないので、機械や設備への投資も考えると、難しいので就職しました。
地域の多くの農地を一手に引き受けているので、しっかりと守って行かねばという責任を感じています。



日南町のどんなところに魅力を感じましたか？

僕は東京出身ですから、ふるさとと呼べる田舎がありませんでした。川で泳いだり釣りができるような田舎が欲しいなと思いました。田舎を作るために日南町に来ました。

日南町に対して何か提言がありましたら
まず、町民のみなさん、一時停止を守って欲しい。そしてシニアカーはなるべく農道を通行して欲しいです。
外で農作業をしていると、防災無線が聞こえないので、何があっても分からない。スピーカーをもう少したくさん設置するか、携帯にメールでながして欲しいと思います。



移住して4年目、農業は体力勝負

教育長の選任



丸山 悟氏 60才 (阿毘縁)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、特別職として新たに教育長に任命することに同意しました。

任期は、平成27年4月1日から平成30年3月31日まで。

議事事務局長が

変わりました

4月の人事異動により、新しい議事事務局長に岩崎昭男職員が着任しました。



新しい事務局体制
岩崎事務局長と鹿取書記

編集後記

住民が政治に参画する機会はさまざまですが、今回の町議選が無投票となったことの不満から、議員定数の削減の声が真っ先に上がりました。しかし、定数が少なければ果たして選挙になつていたのか。問題はそう単純ではなく、町の現状と将来をみんなで考える貴重な機会となつたのではないのでしょうか。
さて、改選により議会構成が変わり、議会広報委員会には新人議員2氏が加わりました。心機一転、読んで見て分かりやすい議会広報づくりに努めますので宜しくお願いいたします。

久代 記



議会広報調査特別委員会